

- 1) 年齢による変化を測定されましたか?
- 2) 運動による変化をみられましたか?

答: 田隅 和宏(名古屋市立大学 第2内科)
運動負荷前後の DBH 活性の測定は、今後検討させていただきます。

*

9. Thyopac-4 の検討

仙田 宏平 今枝 孟義
(岐阜大学 放射線科)

Tryopac-4 の測定条件に対する基礎的検討を行なった後、臨床診断のはっきりしている主に当科外来患者97例につき、同一血清の Thyopac-4 値と Res-O-Mat T₄ 値を求めて比較検討した。Thyopac-4 の測定方法は Res-O-Mat T₄ のそれと類似するも、インキュベーション時間の短く、遊離 T₄ の分離に固体吸着顆粒を使用している点は大きな差があると思われた。

Thyopac-4 の正常値を $8.6 \pm 4.8 \mu\text{g}/\text{dl}$ とすると正常者の95%以上の例がその値の範囲に入り、妊婦とネフローゼ症候群など TBP 量の変動があると思われる例では全般に各々高値または低値を呈するも、甲状腺機能亢進症および同低下症との重なりは小さかった。同一血清における Thyopac-4 値と Res-O-Mat T₄ 値は比較的良好に相関し、相関係数 $r = +0.79$ が得られた。しかし、正常者の両値の平均には $0.4 \mu\text{g}/\text{dl}$ の差が認められ、前者は後者に比較して全般にやや低い値を示すと思われた。

*

10. Thyopac による FT₄ I の臨床的有用性

仙田 宏平 今枝 孟義
(岐阜大学 放射線科)

甲状腺ホルモン結合蛋白 (TBP) のホルモン結合能を利用したサイロキシン直接測定法 Thyopac-4 (T-4) 値を間接測定法 Thyopac-3 (T-3) 値と比較検討した上、T-4 値 $\times 100 / \text{T-3}$ 値で算出される Free Thyroxine (F T₄) Index の臨床的有用性を検討した。

臨床診断のはっきりしている甲状腺機能亢進症、同低下症および正常者59例の T-4 値と T-3 値は比較的良好

負の相関を示したが、妊娠やネフローゼ症候群など TBP 量の変動がある。例では T-4 あるいは T-3 値の一方のみでは甲状腺機能異常と見誤られる結果を得た。

それに対し、両 Thyopac 値から算出された F T₄ Index は、正常値を 7.7 ± 4.8 とすると正常者の95%以上の例がこの値の範囲に入り、甲状腺機能異常例との重なりが極くわずかであっただけでなく、TBP 量の変動例のほとんどが正常値を示し、甲状腺機能が正しく反映される結果を得た。

*

11. 結節性甲状腺腫の Scan 像による良性、悪性の鑑別

小野田孝治
(国立東静岡病院 放射線科)

昭和34~46年の13年間に診療した結節性甲状腺腫は146例で、悪性50例、良性96例である。

悪性と良性の臨床所見上の鑑別点として、硬度硬(悪72%, 良8%), 波動または液貯溜(悪0, 良23%), 複数腫瘍(悪32%, 良4%), 呼吸困難(悪8%, 良0)があげられる。

Scan 像からの鑑別点としては、cold nodule (悪80%, 良40%), 片葉完全欠損(悪36%, 良7%), 異所性発育(悪16%, 良3%), 不規則縁あるいは硬化縁(悪52%, 良12%), 腫瘍内小島または辺縁部臍形成(悪32%, 良4%)があげられる。

年齢別では、70才以上は100% (7/7), 60~69才では60% (6/10), 10~19才で40% (5/13) はが悪性であった。腫瘍の大きさ、気管の多少の変位、石灰化の有無は悪性、良性の鑑別には余り役立たない。

Scan 像のみで悪性を診断できたものは48% (24例)、良性を診断できたものは75% (72例)あり、臨床所見をも併せて術前診断が困難であったものは、悪性甲状腺腫では12例 (24%), 良性で11例 (11%), 併せて23例 (16%) あった。

直径1cm未満の悪性結節は Scan 像では現われ難く、悪性甲状腺腫の早期発見は RI 検査のみでは困難である。

質問: 今枝 孟義(岐阜大学 放射線科)

結節性甲状腺腫の良、悪性の鑑別に代償性肥大の有無、欠損部と正常部との辺縁が凸形か、凹形かが役に立つと思われませんが、これについてご検討されましたか。